

2013年10月30日（水）配信在クリチバ日本国総領事館メールマガジン 326号

23日付当地トリブナ紙は、クリチバ市セントロ地区において銃撃戦が発生した旨報じているところ、概要を以下のとおり、お知らせ致します。

10月22日（火）夜間、クリチバ市セントロ地区ボカ・マウジッタ付近（大山学院より約100m）の飲食店内にて発生した喧嘩が次第に激しくなり、2組に分かれ各々車に乗り込み銃撃戦が繰り広げられ2名が負傷した。

同時刻、事件現場の至近ホテルでは別犯人による強盗事件も発生している。同行総の騒動に乗じて5人組の犯人が金銭を奪うためホテル受付内へ侵入し、伯貨100レアルを奪い逃走したが、犯人1名は逮捕、残り4名は現在も逃走中である。

捜査を担当する文民警察捜査官によれば、同抗争の発端は麻薬の縄張り争いから始まっていると述べている。

<当館からのお願い>

・当治安当局幹部によれば、パラナ州で発生する殺人事件の大多数が麻薬に関係していると発言しており、売買場所など疑いがある場所には決して近づかないよう、お願い致します。

・万が一強盗被害にあわれた場合は、速やかに軍警察（Policia Militar、電話番号190）に一報するとともに、被害届を最寄りの文民警察（Policia Civil、電話番号197）に提出することが事件発生現場の巡回強化や捜査等にも繋がるため、非常に大切であるとのことでした。

・また、被害拡大防止のため、在留邦人等の皆様と（個人情報をおふせした上で）情報を共有するためにも、当館（担当：警備班・領事班）へご連絡いただければ幸いです。